

■ たなか 田中 あいじ 愛治

早稲田大学第17代総長。1951年、東京都生まれ。1975年、早稲田大学政治経済学部卒業。1985年The Ohio State University大学院政治学研究科博士課程を修了し、Ph.D.（政治学）取得。東洋英和女学院大学助教授、青山学院大学教授、早稲田大学政治経済学術院教授等を経て現職。2006年から早稲田大学教務部長、理事（教務部門総括）、グローバルエデュケーションセンター所長を歴任。文部科学省中央教育審議会委員、日本学術振興会委員等を多数務める。2014年7月～2016年7月International Political Science Association会長。著書として『熟議の効用 熟慮の効果』（編著）勁草書房、2018年、『政治学』（共著）有斐閣、2003年など。

■ もり 森 あきのり 晃憲

大臣官房審議官（高等教育局及び科学技術政策連携担当）。1986年3月東京大学法学部卒業、2014年7月高等教育局高等教育企画課長、2015年4月大臣官房審議官（研究開発局担当）、2016年4月独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事（兼）国立大学支援センター長、2018年7月大臣官房付（命）文部科学戦略官、2018年10月より現職。

■ まるやま 丸山 ゆうぞう 祐造

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻、数理・情報教育研究センター併任。1994年東京大学教養学部卒業、1998年東京大学大学院経済学研究科博士課程中退、2000年博士（経済学）東京大学。専攻は統計学。1998年九州大学大学院数理学研究院助手、2001年東京大学空間情報科学研究センター助教授、2017年より現職。論文としてYuzo Maruyama and William E. Strawderman, “Admissible Bayes equivariant estimation of location vectors for spherically symmetric distributions with unknown scale”, *Annals of Statistics*.

■ しみず 清水 しょうへい 昌平

滋賀大学データサイエンス学系教授。2001年大阪大学人間科学部卒業、2006年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。専攻は統計科学。2009年大阪大学産業科学研究研究所助教、2013年大阪大学産業科学研究所准教授、2018年滋賀大学データサイエンス学系教授。主著として(1)A linear non-gaussian acyclic model for causal discovery. /*Journal of Machine Learning Research*, 7: 2003-2030, 2006.。(2)統計的因果探索(2017年、講談社)。

■ かく 郭 やんちゆん 洋春

立教大学総長・経済学部教授。1983年法政大学経済学部卒業、1985年立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程（前期課程）修了、1988年立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程（後期課程）単位取得退学。専攻は開発経済学、アジア経済、平和経済学。立教大学経済学部教授。経済学部長・経済学研究科委員長を経て、2018年より現職。主著として(1)『国家戦略特区の正体 外資に売られる日本』、(2)『現代アジア経済論』。

■ にった 新田 たかお 隆夫

大阪大学共創機構産学共創・渉外本部副本部長。前内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付参事官。最終学歴は慶應義塾大学大学院理工学研究科。

\* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。